

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会  
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和7年7月15日

公益財団法人吉田学術教育振興会  
理事長 山倉 修一 殿

学校名	久留米市立榎原中学校
報告者	教諭 諸永ききょう (連絡先 TEL : 0942-33-7385 )
寄贈品	タッチパネルモニター付き生物顕微鏡
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	使用者 : 教師及び各学年生徒 使用内容 : 1年生…单元1 生物の世界 1章 身近な生物の観察 顕微鏡の使い方・微生物の観察 2年生…单元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物をつくる細胞 植物・動物の細胞の観察 3年生…单元2 生命のつながり 1章 生物の成長とふえ方 細胞分裂のようすの観察 使用頻度 : 1年生…3時間×2クラス 2年生…2時間×2クラス 3年生…2時間×2クラス
申請当初の 目的達成状況	同時に班員が同じものを観察し、観察しながら交流し、理解を深めることで、生徒の科学への関心と興味を一層深めることができた。 目的は、おおむね達成できた。
教育的効果について 所見等	モニターがあることで、個人で観察するだけでなく、班や学級で観察結果を共有し、考察することができた。画像として記録できるので、単元の学習を進める途中の復習などにも活用し、学力向上につながった。

### 活用状況の写真等（当日の様子など）

3年生：単元2 生命のつながり 1章 生物の成長とふえ方  
細胞分裂のようすの観察



班全員で観察する



細胞分裂していると思われる細胞を共有



タブレット（モニター）に画像を記録。ノートに記録。



接眼レンズを随時覗きながらスケッチする、従来の記録の仕方に比べ、スケッチがしやすくなりました。

#### 今後の活用見通し・課題

- ・微生物の観察などの画像データを多く残し、教材として活用していきたい。